

2022年5月17日

各位

会社名 K u d a n 株式会社  
代表者名 代表取締役 CEO 項 大雨  
(コード番号 4425 東証グロース)  
問合せ先 執行役員 CFO 中山 紘平  
(TEL. 03-4405-1325)

## 2022年3月期 通期決算説明に関する質疑応答内容の公開のお知らせ

当社は、2022年5月16日、投資家・アナリスト向け決算説明会を開催いたしました。投資家の皆様にタイムリーに情報を開示するべく、質疑応答内容を本リリースにてテキストにて公開いたします。また、決算説明動画や決算説明スクリプトURLを以下に再掲しておりますので、あわせてご確認いただきますようお願い申し上げます。

### 【2022年3月期通期 機関投資家・アナリスト向け決算説明会】

- 開催日時：2022年5月16日（月）
- 説明者：代表取締役 CEO 項 大雨  
執行役員 COO 村井 太郎  
執行役員 CFO 中山 紘平

▼▼決算説明動画はこちらからご確認いただけます▼▼

<https://youtu.be/cUKYztL2ER0>

▼▼決算説明スクリプトはこちらからご確認いただけます▼▼

<https://finance.logmi.jp/377024>

▼▼決算説明資料はこちらからご確認いただけます▼▼

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS02977/d2d12cc9/e930/4eef/bad6/145928d0e9d6/140120220512543239.pdf>

---

---

### 【質疑応答内容】

- 技術統合によるコストシナジーについて具体的に教えてください。

技術統合によって、Kudan の Indirect 手法と Artisense の Direct 手法の双方のアルゴリズムの長所を組み合わせた、ハイブリッドなシステムを開発することとなります。これにより、幅広い需要に対して性能を発揮する技術が可能となり、今後の継続的な成長の基盤になります。

また、2 系統あった SLAM システムの統合により、機能の共通化、アーキテクチャの共有によって技術の統廃合が進んだ結果、自主退職を含む人員削減と人員移動を実施し、最適な組織体制の実現及びコスト削減が可能となります。あわせて、人件費に加えて、開発子会社の設備や管理費も含めてのコスト削減を見込んでおります。

## 2. 四半期黒字化の時期、通期黒字化の時期についてコメントをお願いします。

現在の当社の事業フェーズや事業性質を考えると、コストは四半期ごとでの実績を見ているものの、売上は期末偏重であることから、四半期ではなく年単位で業績を見るのが最も適切に事業進捗を表していると考えております。

通期黒字化については、当期 2022 年 3 月期の黒字化は想定していませんが、今期末までにコスト構造が改善され、来期 2023 年 3 月期には原則として黒字化体質への転換を目標として考えております。ただし、早期黒字化と同等に中長期の事業成長を伸ばすことも重要と考えておりますため、来期改めて必要な事業投資とのバランスを考慮した目標設定を行いたいと考えております。

## 3. 今期の為替前提はどのようになっていますか？円安によるメリットはありますか？

今期の為替は 2022 年 3 月末の為替前提で考えております。円安による効果については、海外の売上・コスト共に増えるため、一概にメリットになるかデメリットになるかは判断できないものとなります。

---

※決算説明の内容に関するご質問につきましては、下記の問い合わせ先にて頂戴いたします。また、ご希望の会社様には、個別取材も承りますので、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

### ■会社概要

会 社 名：K u d a n 株式会社

証券コード：4425

代 表 者：代表取締役 CEO 項 大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)